

今、何の病気が流行しているか！

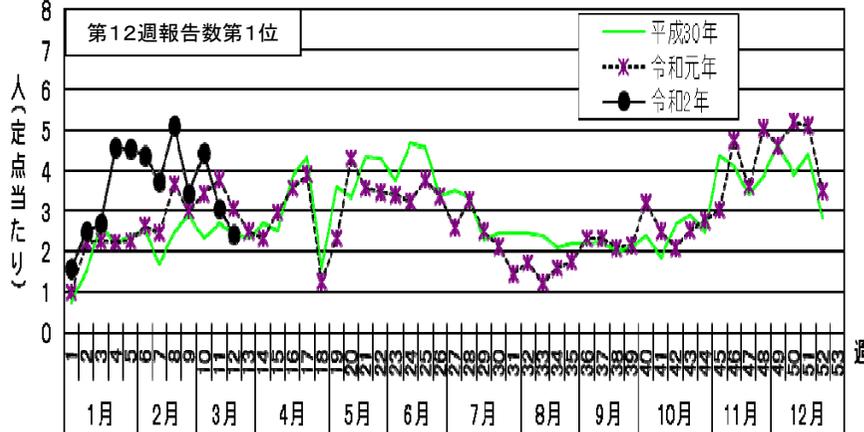
【感染症発生動向調査事業から】

令和2年3月16日（月）～令和2年3月22日（日）〔令和2年第12週〕の感染症発生状況

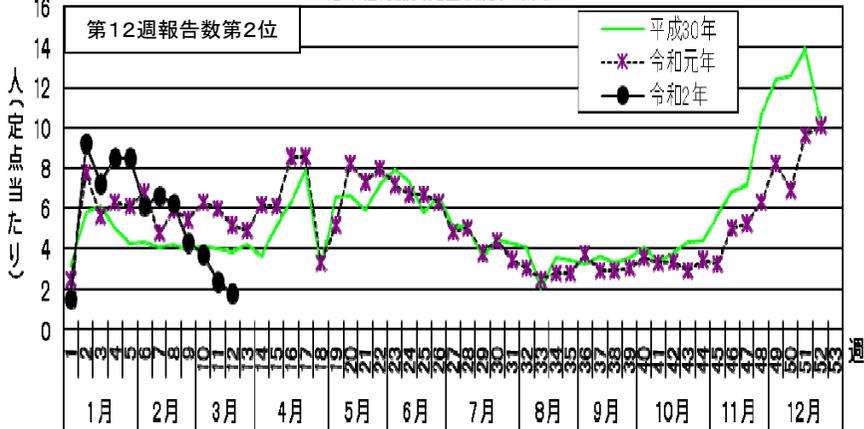
第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2) 感染性胃腸炎 3) 流行性角結膜炎でした。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、2.43人と前週（3.05人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は、1.81人と前週（2.41人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は、0.56人と前週（0.33人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



必要なワクチン接種を忘れずに！

多くの感染症は、世界各国で現在流行している新型コロナウイルス感染症と同様に、発熱を主症状とします。感染力が強く、病原性が高い疾患もありますが、麻しんや風しんなど一部の疾患はワクチンにより予防することが可能です。国内では、毎週風しんの患者が報告されており、川崎市でも令和2年第12週（3月16日～3月22日）に2件の報告がありました。

定期予防接種の対象の方は、かかりつけ医と相談し適切なタイミングで確実に接種をしておきましょう。

定期予防接種の種類

- ＜小児＞
- ✓ヒブワクチン ※インフルエンザ菌b型感染症
 - ✓小児用肺炎球菌ワクチン
 - ✓B型肝炎ワクチン
 - ✓DPT-IPV（1期）、DT（2期）ワクチン
※D：ジフテリア、P：百日咳、T：破傷風、IPV：不活化ポリオ
 - ✓BCG ※結核
 - ✓麻しん・風しん混合（MR）ワクチン
 - ✓水痘ワクチン
 - ✓日本脳炎ワクチン
 - ✓ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン

- ＜成人＞
- ✓インフルエンザワクチン
 - ✓成人用肺炎球菌感染症ワクチン
 - ✓MRワクチン（風しん第5期）

【対象者】
 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性で、接種検査において抗体なしと判定された方
 【実施期間】
 平成31年4月10日から令和4年3月31日まで

小児が予防接種を受ける際の注意点

- ✓定期予防接種を受けられる医療機関
川崎市予防接種個別協力医療機関
- ✓予防接種を受ける時に持っていくもの
①川崎市予防接種予診票
②母子健康手帳
- ✓予防接種の費用
定期予防接種：無料
任意予防接種：有料



詳細については、川崎市のホームページをご覧ください。
 （医療機関ごとに料金は異なります。）

小児の麻しん・風しん(MR)定期予防接種の対象者

- 【第1期】
 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- 【第2期】
 小学校就学前の年度1年間（4月1日～翌年3月31日）にある者
- ※MRワクチンを接種することで、麻しん・風しん両方の疾患を予防できます。